科目コード	記号	科　目　名			
2115	MS41	特別講義：Special Lectures			
教 員 名		下記の内容欄に示す			
学年	単位･時間	必修･選択	授業形態	単位種別	
5M	1･200分	必修	講義･後期	学修単位	

授業概要	
	企業、研究所および大学等から数名の講師を招き、講義を行う。学生は受講後、報告書を提出する。講師は、本校で開講できない内容の科目および大学、研究所、企業で行われている先端的なテーマや企業などにおける実践的な技術的成果などを講義する。学生は、これら講義の内容を学ぶ。さらに、多様な研究手法、問題解決手法、経験等も学ぶ。特に、企業などにおける研究報告、技術報告の内容は、社会生活や自然環境との関わりが大きい場合が多いので、その関係を、機械技術者としてのあり方の例として学ぶ。

到達目標	評価方法
(1)機械工学科の授業科目にないが、しかし、機械技術者として非常に重要な演題の講義を、注意深く聞き、学ぶことができる。 (2)多様な研究手法、問題解決手法および生産現場での活動と社会生活･自然環境との関わりを学ぶことができる。 (3)特別講義報告書をまとめることができる。	評価方法は、特別講義報告書を評価する。

学習･教育目標	(D)①	JABEE基準1（1）	(d)-(2)-a)

後　期

授業計画

回	項　目	内　容
各講師が、講義の演題の目的、意義、注意点を説明する。		
	講 師	演　題
	松浦好宏	機械技術部門におけるコンピュータ利用の実際
	森川　敏郎	超精密加工技術の最新動向について
	平泉一城	企業における制御技術の応用
	古屋博章	産業機械における安全について
	中川清七	船舶の近代化と専用船化
	未定	未定

関連科目	機械工学科の各授業科目に関連する場合が多い。
教 科 書	担当講師がテキスト（プリント）等を配布する。
参 考 書	担当講師が指示する。
授業評価･理解度	学年末に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備　考	